

～睡眠時無呼吸症候群検査～

このような症状ありませんか

いびきがひどい



起床時の頭痛



日中の眠気



あなたの眠気をチェック！

睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは...

寝ているときに呼吸が何回も止まり、大きないびきをくりかえす病気です。新幹線の乗務員居眠り運転が報道されて以来、社会的に注目を集めていますが、睡眠時無呼吸症候群は、健康と思われる成人の中にも数多く潜在しています。生活習慣病と密接な関わりを持ち、また重症で未治療の場合、心筋梗塞や脳梗塞、突然死等を生じやすくなると言われています。

検査内容

睡眠時の症状を調べるには、一泊入院が（平日の夕方から翌朝まで）必要となります。睡眠中の脳波や呼吸状態、血中酸素濃度、心電図などを同時に測定し、睡眠の深さを調べる検査（PSG検査）を行います。頭・顔・胸・腹・足など電極やセンサーを着けますが、痛みなどはありません。また、睡眠中の体位の制限はありません。この検査の結果によって、睡眠呼吸障害の有無と重症度が明らかになります。

*上記の症状等でお悩みの方は、耳鼻科外来までお気軽にご相談下さい。

治療は...

現在CPAP《シーパップ；持続陽圧呼吸療法(装置)》がSAS治療の第一選択にされ、安全性・有効性の面から最も普及している治療法です。在宅で就寝時に特殊のマスクを鼻に装着し、睡眠時はこのマスクを介して持続的に空気を気道に送り込み、閉塞部位(主に咽頭舌根部)を押し広げる治療法です。

